

第11回世界湖沼会議のご案内



「湖沼流域の持続的管理に向けて：
世界の経験とアフリカ大陸の課題」

新たなグローバル・イニシアティブがケニアで始まる！



2005年10月31日～11月4日

ケニヤ共和国、ナイロビ市

ケニヤッタ・インターナショナル・コンファレンス・センター



ケニア水資源灌漑省



(財)国際湖沼環境委員会



はじめに

ケニア政府水資源灌漑省および ILEC は、「湖沼流域の持続的 management に向けて: 世界の経験とアフリカ大陸の課題」と題し、第 11 回世界湖沼会議を 2005 年 10 月 31 日から 11 月 4 日にかけてナイロビ市内のケニヤッタ・インターナショナル・コンファレンス・センターで開催することになりました。この会議は、アフリカ大陸における最初の世界湖沼会議となります。皆様の会議への参加を心よりお待ちしております。

世界湖沼会議の目的

湖沼は社会経済の発展にとって重要な役割を持っています。にもかかわらず、多くの湖沼は様々な問題を抱えています。湖沼を持続的に利用していくには、壊れやすいその生態系を適切に管理していく必要があります。本会議では、広くは湖沼管理についての知識と経験を交換するため、特定な話題としてはアフリカの湖沼に関する課題を話し合うことを目的としています。実りあるフォーラムを構築するために、湖沼にかかわりを有する様々な人々が、一堂に会することを期待しています。

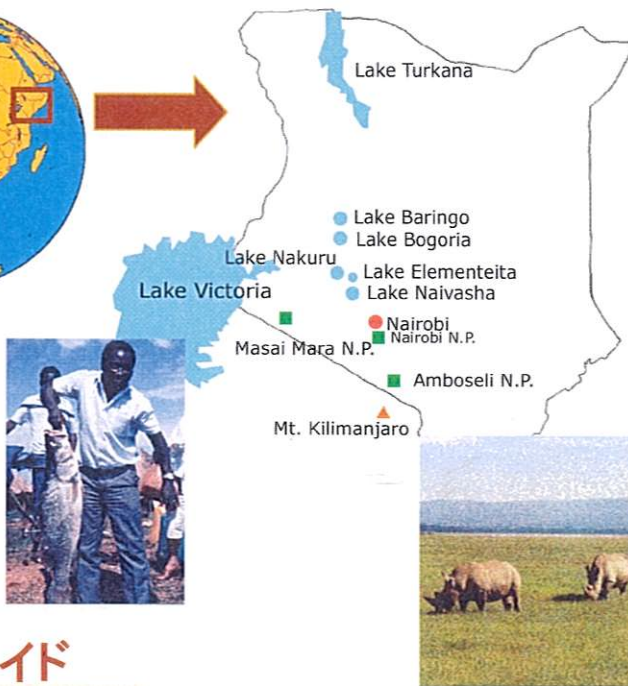
予定されている分科会

第 1 分科会 ガバナンスと水資源管理 湖沼管理と水管理部門、国際湖沼の管理、湖沼資源の開発と地域経済、開発援助と湖沼、人材開発 など	第 2 分科会 湖沼科学研究とモニタリング 湖沼科学研究とモニタリング、技術保全と対策技術、教育・研究・研修、湖沼と流域の管理 など
第 3 分科会 貧困の撲滅とエイズ対策など 貧困の撲滅、湖沼・衛生および保健問題、湖沼および農業・食糧供給に関する安全保障 など	第 4 分科会 湖沼管理の緊急的課題 湖沼と難分解性有機化学物質、新たに発生した湖沼問題、気候変動と湖沼管理 など
第 5 分科会 湖沼管理への住民参加 若者の関与、住民参加・地域集落と湖沼管理、女性問題、教育の役割、啓蒙普及、関連有識者の関与 など	第 6 分科会 湖沼管理イニシアチヴ 地球規模湖沼流域管理イニシアチヴ、アフリカの都市域における湖沼と水問題、湖沼と水上交通、国際機関と NGO の役割 など
第 7 分科会 漁業、生物多様性、湖沼生態系の健全性 生物多様性と漁業、富栄養化などの水質汚濁問題、工業や農業の影響、湖沼流域と自然資源との関係 など	第 8 分科会 湖沼への脅威 - 特にアフリカの現実に焦点をあてて 集水域開発の影響、アフリカ湖沼が瀕する脅威、侵入外来種問題 など
第 9 分科会 地域文化 地域伝統文化と湖沼、近代的なライフスタイルと湖沼の健全性 など	特別分科会 若者による分科会、一般市民による分科会、食糧 - 健康 - 水資源に関する分科会、首長による特別分科会、若手専門家による分科会、専門機関会議

テクニカルツアー：ケニア国内外の湖沼と大自然をめぐるツアー各種が企画されます

ケニアは、東アフリカに位置し、面積約 58 万 km² (日本の 1.5 倍)の国土に、およそ 3,100 万の人が住んでいます。首都はナイロビで、アフリカの大都市です。美しい自然を擁し、フラミンゴで有名なナイバシャ湖、ナクル湖、バリンゴ湖、エリメンテータ湖の他、多くの湖があります。

第 11 回世界湖沼会議では、ケニア国内外の湖沼をはじめ、ナイロビの中心部から 8km のところで野生生物が見られるナイロビ国立公園など、大自然をめぐるツアーを計画しています。参加者のビザ・旅行計画・ホテルの予約を扱う機関として、接遇補助委員会が設置されています。接遇補助委員会は、要望があれば、個人的な安全保障についての計画も提供することにしています。



ケニアガイド

● 日本からの行き方

日本からの直行便はなく、ヨーロッパ、アジア、中東で乗り継ぎ、ナイロビへ。所要時間はおよそ 15 時間～20 時間で、入国に際してはビザが必要です。

● 時差

日本より6時間遅れ

● 通貨

1ケニアシリング=約 1.3 円

● 言語

スワヒリ語(国語)、英語(公用語)

● ナイロビの年間平均気温・降水量

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(°C)	19	20	21	21	19	17	17	17	18	20	19	19
最低気温(°C)	17	17	18	18	17	15	14	15	16	17	17	17
降水量(mm)	74	58	89	208	191	38	18	23	36	56	148	91

「海外情報総合サイト トラベルコちゃん」より http://www.tour.ne.jp/country/city.asp?city_id=359&COUNT_ID=140&fromTop=yes

● 服装

赤道直下とはいえ、ナイロビは標高 1,700 メートルの高原地帯にあり、1 年中夏の軽井沢のような気候です。セーターやジャケットも必要になります。

これまでに開催された世界湖沼会議



第1回 1984年8月27-31日
滋賀県、大津市



第2回 1986年5月18-21日
アメリカ、マッキノウ島(ミシガン州)



第3回 1988年9月12-17日
ハンガリー、ケストヘイ市



第4回 1990年9月5-9日
中国、杭州市



第5回 1993年5月17-21日
イタリア、ストレサ市



第6回 1995年10月23-27日
茨城県、霞ヶ浦市



第7回 1997年10月26-31日
アルゼンチン、サンマルティン・デ・ロス・アンデス市



第8回 1999年5月17-20日
デンマーク、コペンハーゲン市



第9回 2001年11月11-16日
滋賀県、大津市



第10回 2003年6月22-26日
アメリカ、シカゴ市

第11回世界湖沼会議開催までの主なスケジュール(暫定)

- | | |
|----------|---|
| 2004年10月 | 第1回アナウンスメント: ホームページ公開 |
| 2005年2月 | 第2回アナウンスメント: 発表論文のアブストラクト募集開始 |
| 2005年5月 | 第3回アナウンスメント: 参加者登録開始、提出論文の公開、詳細プログラムの発表 |
| 2005年7月 | 早期登録締め切り: 追加提出論文の公開、詳細プログラムの改定 |
| 2005年9月 | 事前登録締め切り |
| 2005年10月 | 中旬以降は当日登録 |

世界湖沼会議に関するお問い合わせ先

財団法人国際湖沼環境委員会
第11回世界湖沼会議担当
〒525-0001
滋賀県草津市下物町1091番地
電話: 077-568-4567
FAX: 077-568-4568
E-mail: kenya2005@ilec.or.jp
URL: <http://www.ilec.or.jp/jp/wlc.html>

Ministry of Water and Irrigation
Maji House, Ngong Road
P O Box 49720
Nairobi, KENYA
Tel: +254-2716103
Fax: +254-2727622
E-mail: nilesec@wananchi.com
simeonochieng@yahoo.com

ILECについて



現在、世界各国の湖では、周辺地域の人口増加や工業化などの開発により、自然の湖が持つ多くの機能が失われています。このような危機感から、昭和61年2月『国際湖沼環境委員会(ILEC)』が設立されました。世界の湖沼環境の健全な管理と、これと調和した持続的開発の在り方を求めて国際的な知識交流と調査研究推進を図ることを目的としています。

第11回世界湖沼会議公式サイトと登録の詳細: www.ileckenya.go.ke